

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「あいさつから始まる時間」

「おはよう。」

我が家は、この言葉から始まります。調子がいい時には、我が子はいいい返事を返しますが、調子が悪いと返事もしません。そんな時は、顔をのぞき込んで何度も挨拶をします。また、家族に腹が立っている時は、挨拶されても返したくない時もあります。

たった一つの挨拶ですが、挨拶をする側、される側の気持ちによつて、四文字の言葉で声も表情も変わり、こんなにも感情を込めることができるのだなあと、時々感心してしまうことがあります。

今、私の学校では挨拶運動をしています。そこで挨拶について辞書で引いてみると「禅家で、師僧が門下の僧と問答して、その悟道・知見の深淺を試みること」と出ています。この問答のことを一挨拶一挨拶と言うそうです。

「挨拶」には、「押す、せまる」という意味があり、「拶」には、「責める、迫る、はさみつける、押しつける」という意味があるそうです。

言葉の意味から考えると、挨拶

は相手にせまるものであるということになります。

挨拶は人と人をつなぐ大切なものの。そのせまり方によつて、相手の表情や声色、そして感情にまでも影響を与えるものなのだということが分かります。

つまり、挨拶をする側、返す側の表情や声色によつてその後の気持ちも違ってくるのではないのでしょうか。

互いに押し合い、互いの様子を感じ、ともに挨拶をした喜びを感じられるような瞬間が毎日の数秒で作れるつて、素敵なことですね。六年生の担任をしている私にとつて、今の六年生とそんな素敵な時間が持てるのは、後わずか。子ども達が巣立ってしまつと、そんな素敵な時間を持つことはもうできないでしょう。だからこそ、ともに挨拶ができる一日一日を、大切に、大切に過ごしていきたいと思ひます。

みなさんも大切な誰かと、周りの誰かと挨拶から始まる素敵な時間を大切に過ごして下さい。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
香々美小学校 林田 裕子

のびのびひろば

冬の大自然の中で・・・



上齋原幼稚園では、冬になるとソリだけでなく、クロスカントリースキー（歩くスキー）も楽しんでいます。真っ白な雪の上に、レールのような筋を付けながら子どもたちはスーイスイッと楽しそうに滑り歩きをしています。はじめは寒くても歩いているうち暑くなって汗びっしょりになることも!



準備や片付けも自分で・・・



まずは
お部屋で・・・



ゴールまで競争な!!



今年は3歳児もチャレンジ!

(上齋原幼稚園)